

## 単元名 (選択単元)地震による災害

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 我が国の国土では様々な自然災害が起こりやすいことや県や市(町)が災害に対する対策や事業を進めていることを理解し、災害の具体的事例を地図や統計資料を活用して調べ、まとめることができる。
- (2) 過去に発生した自然災害や、自然災害発生時における地域の関係機関の協力などに着目し、災害から人々を守る活動を捉え、自分たちにできることを考え、ノートなどに表現することができる。
- (3) 我が国の自然災害に対処してきた人々の働きについて問題意識をもち、意欲的に追究するとともに、地域に住む一員として災害に備えて自分たちにできることを考えようとする。

## 標準的な展開例

04030201\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 日本で起きた自然災害について話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P.70の写真を見て災害が及ぼす影響について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>地震が来ると町の建物が壊れてしまう</li> <li>台風が来ると町が水浸しになってしまう</li> <li>最近も台風で大きな被害が出ていた</li> </ul> </li> <li>日本や愛知県で起きた自然災害について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本は自然災害が多いね</li> <li>こういった災害って自分たちも被害に遭うことがあるかもしれないな</li> </ul> </li> </ul> <p>★地震による災害から身を守るためにどのような取組があるのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震による災害に対する様々な人々の取組を予想し、学習計画を立てる。</li> <li>予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>調べる内容…地震が及ぼす暮らしへの影響、災害後の対応、災害への備え、自分たちにできる取組</li> <li>調べる方法…副読本、だいき大愛知、インターネット</li> <li>表現の方法…ノート</li> </ul> </li> </ul> <p>3～4 地震による災害が及ぼす暮らしへの影響や災害後の対応について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた後の建物や土地の様子を調べる。</li> <li>阪神・淡路大震災の暮らしについて調べる。</li> <li>自然災害発生時における地域の関係機関の取組について調べる。</li> </ul> <p>5～7 地震による災害への対策について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県や市(町)が行っている地震による災害への対策について調べる。</li> <li>防災や減災のために取り組む地域の方の話を聞く。</li> <li>災害から人々を守るための活動について、調べて分かったことをノートにまとめる。</li> <li>ノートにまとめたことを発表する。</li> </ul> <p>8～9 地震による災害に備えて、自分たちにできることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料】だいき大愛知</li> <li>自然災害の発生場所を地図帳で確認させる。</li> <li>自然災害の中で、地震による災害に着目させて学習問題を設定させる。</li> <li>防災備蓄倉庫の写真を提示し、誰が、何のために、どんな物を備蓄しているかを考えさせる。</li> <li>【資料】だいき大愛知</li> <li>【評】地震による災害に対する様々な人々の取組を予想する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>地震によって影響のあった様子が分かる写真を提示する。</li> <li>教科書P.89の表を活用して、暮らしにどのような影響があったかを考えさせる。</li> <li>「ライフライン」の意味を押さえる。</li> <li>教科書P.89「山田さんの話」から、震災時の人々の思いや願いに迫らせる。</li> <li>教科書P.90～91を活用して、復興に向けて、関係機関が行った取組や連携の様子を捉えさせる。</li> <li>【評】地震による災害が及ぼした影響や災害後の対応について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>【資料】だいき大愛知</li> <li>緊急地震速報について触れる。</li> <li>だいき大愛知の写真や学校の周りにある避難場所を示す看板やハザードマップなども使って考えさせるとよい。</li> <li>市町の防災担当の方に、自分たちが住む町ではどのような取組を行っているかを聞かせることで、防災や減災に対する対策例(防災無線など)をより身近に考えることができる。</li> <li>どのような思いで防災対策や減災対策に取り組んでいるのかを聞くとよい。</li> <li>【評】ノートにまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【資料】だいき大愛知</li> <li>「自助」「共助」「公助」の意味と、「公助</li> </ul>

- 10 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。  
○自分たちにできることを話し合う。

」には限界があることを押さえ、「自助」と「共助」の観点から自分にできることを考えさせる。

【評】自分たちにできることを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】自分たちにできることを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【評】自分たちにできることを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

本単元は、地震災害、津波災害、風水害などの中から、過去に県内で発生した身近な事例として地震災害を選択して取り上げる。